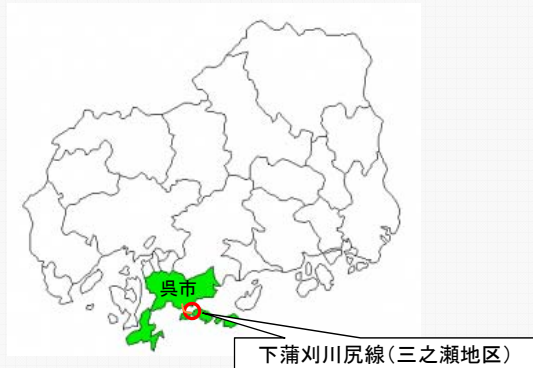


# 石畳の県道(下蒲刈川尻線)

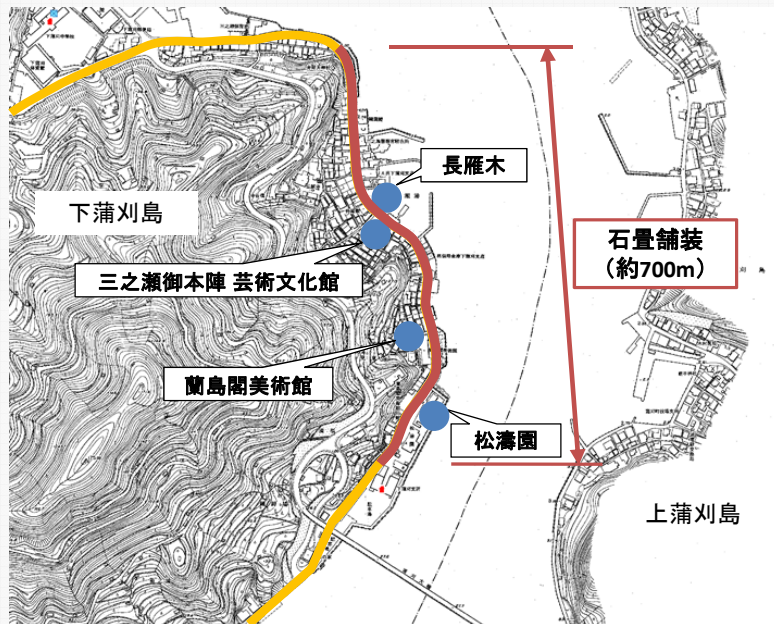
呉市下蒲刈町の三之瀬地区を通る一般県道下蒲刈川尻線には石畳の通りがあります。

三之瀬地区には、朝鮮通信使などが立寄った歴史的な港や歴史をテーマとした文化施設が建ち並ぶ観光地があり、呉市の「三之瀬景観づくり区域」にも指定され、歴史的建築物を保全するとともに、歴史的・文化的なまちなみ景観が守られています。

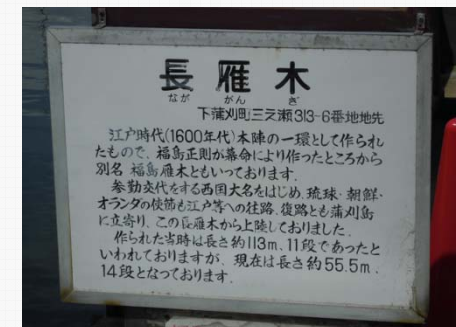
石畳舗装に松を配する庭園風景は、地域を代表する景観のひとつになっています。



石畳の県道(蘭島閣美術館前)



石畳の県道と長雁木



## 長雁木

ながやぶき  
下蒲刈町三之瀬313-6番地地先  
江戸時代(1600年代)本陣の一環として作られたもので、福島正則が幕命により作ったところから別名 福島雁木ともいっております。  
参勤交代をする西国大名をはじめ、琉球 朝鮮 オランダの使節と江戸等への往路 復路とも蒲刈島に立寄り、この長雁木から上陸しておりました。  
作られた当時は長さ約113m、11段であったといわれておりますが、現在は長さ約55.5m、14段となっております。